

学校給食運営協議会 会議記録（概要）

開催日時	令和5年1月20日（金） 18：30～20：30 南分館 601 会議室	作成	学校教育部 学校給食課
件名 （所管）	持続可能な給食実施のための保護者と市の負担のあり方について 答申書の構成など （学校教育部学校給食課）		
出席者	委員	原田会長、高橋副会長、山口委員、高山委員、川口委員（リモート参加）、乾委員 川瀬委員、楠委員	
	事務局	教育長 鹿嶽、学校教育部 浅野次長 学校給食課 廣瀬課長、西中参事、 西田主幹、森係長、田所係長	
	ワザ ーバ	大向校長（松が丘小学校）、王子教頭（狭間中学校）、増谷栄養教諭、 大西課長（すくすく子育て課）、徳岡副課長（農業創造課）	
<議事>			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 会議の公開について 3. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> （1）燃料費の補正額について 4. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> （1）持続可能な給食実施のための保護者と市の負担のあり方について <ul style="list-style-type: none"> ① 給食費改定の基本的な考え方について ② 給食経費の負担のあり方について （2）答申書の構成等について 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> （1）アンケートの調査概要版（保護者配布用）について 			
使用した資料			
<ol style="list-style-type: none"> ① 配席表 ② 第2回学校給食運営協議会 会議概要 ③ 第3回学校給食運営協議会資料 ④ アンケートの調査概要版（保護者配布用） ⑤ 答申書の構成案 			
会議概要			
<p>第2回学校給食運営協議会の追加資料の説明 「燃料費の補正額」についての報告</p> <p>「持続可能な給食実施のための保護者と市の負担のあり方について」 給食費改定の基本的な考え方及び保護者と市の給食経費の負担のあり方を協議する。</p> <p>答申書の構成について意見を聞く。</p> <p>アンケートの調査概要版（保護者配布用）の記載内容について意見を聞く</p>			
主な意見			

- ・燃料費の割合的なものを分かる資料はないですかという話をしたと思う。市によっては保護者負担でやっているところもあるし、三田市のように分割している所もあるし無償のところもあると、4ページの市町村が並んでいますが情報としてはわからない、これを見てどう判断したらよいのか。
- ・法律にはきっちり書いています、端的に言うとも燃料代とか上下水道料金は基本的には保護者が負担することになっています。兵庫県内の市町では多くの市町が負担している流れになってきている、法律のルール以上に今は市町が負担していると理解いただくのが今の流れであると言える。
- ・光熱費と水道1/4については現状維持、そのままということになれば、当然食材費が高騰しているわけですから維持も難しいことになるかと思います。
- ・兵庫県内で市町村では、物価高騰と子ども達への安全安心な給食を提供するという事で値上げを決定されている所はあります。
- ・三田市の給食の金額を見ても県下でも少ないと感じると判断できる、また平成26年の改定とそれ以来少し年数も経っていますし、値上げする事は心苦しいが今回上げても仕方がないのではと思う。
- ・今肥料代が45%程度値上がりしている、出荷にはトラクターがいるが燃料代も高騰している、農業を営む者からすれば値上げをしなければ成り立たなくなってきているのが現状です。
- ・一食当たりの給食費として10円と30円の間でしたら、価格的に保護者の負担は少ないのかなと言う印象はあるのですが、漠然と値上げをした所で何が変わったのか保護者の目に見えないと保護者も納得されないと思う。
- ・平成26年から給食費を維持しておりますので、そこから消費者物価指数をみると18%近く食料品では物価高騰しており、その分、物が買えなくなっている。
- ・給食の水準は平成26年当時にやはり戻して行けた方が、子ども達も十分な食事ができるのであろうと思っております。
- ・問18のように「少し充実」「より充実」「さらに充実」が半数以上を占めているのでこれに近づけられるのか心配ではありますが、今のままよりは仕方がないのかと思います。
- ・いろんな物が高騰していく時代になりつつある中でアップは仕方がないと思っている。しかし、しっかりと議論された中で納得いくような形になればと思う。例えば子ども手当の充実が言われている中でその分から多少とも（給食費が）捻出できればというのが保護者の率直な意見だと思います。
- ・具体的に給食費が月々どれくらい変わるのかというのが一番気になると思っていて、何にどのくらい使われたのかがはっきりわからないと、ただ値上げされたとしか印象に残らないというのがあります。
- ・保護者の理解を求めるという事は必須としつつ、その上で具体の上げ幅とか金額ですね、或はいつからとタイミングですね、これについては慎重に対応することが必要。
- ・「家計が苦しいので市も負担して欲しいと思われていることや無償化して欲しいといった声も出ていること」という意見も実際ある。
- ・今年度約3,000万円の補填があったと、ということはすでに食材料は補填がなければ赤字であったと理解してよろしいですね。
- ・平成26年の献立は残っていますか、それを今の費用で作るとどれくらいになるかそれで比較するとどれくらい違ってくるかがはっきりと分かると思います。

- ・県下でも燃料代と上下水道料金の保護者負担の自治体数が、小学校が6つ、中学校が5つになっているので、この際そこも見直しをされたら良いように思っております。
- ・献立については、給食は1日の1/3の量であり、学校給食の摂取基準とか、食品構成に基づく栄養バランス、食品の組み合わせ等を工夫しながら立てています。
- ・年間180回の給食ですけど子供達が毎日給食を食べていて楽しい、美味しい、また食べてみたい、「給食だより」はレシピとしても使えるように工夫して作っているので、また作ってみたいと思ってもらえるような内容にしたいと思っています。
- ・子ども達が三田で食べるという事から三田らしさを出すには三田の特産物とか、旬の野菜、季節感を感じるような伝統行事食等も出していきたいと思っています。
- ・三田肉を給食に出せたら私達大人でも食べたくなる魅力的な献立になるというところから価格としては非常に厳しいのですが1回でも提供して子ども達の記憶に残るような給食になればと思っています。